

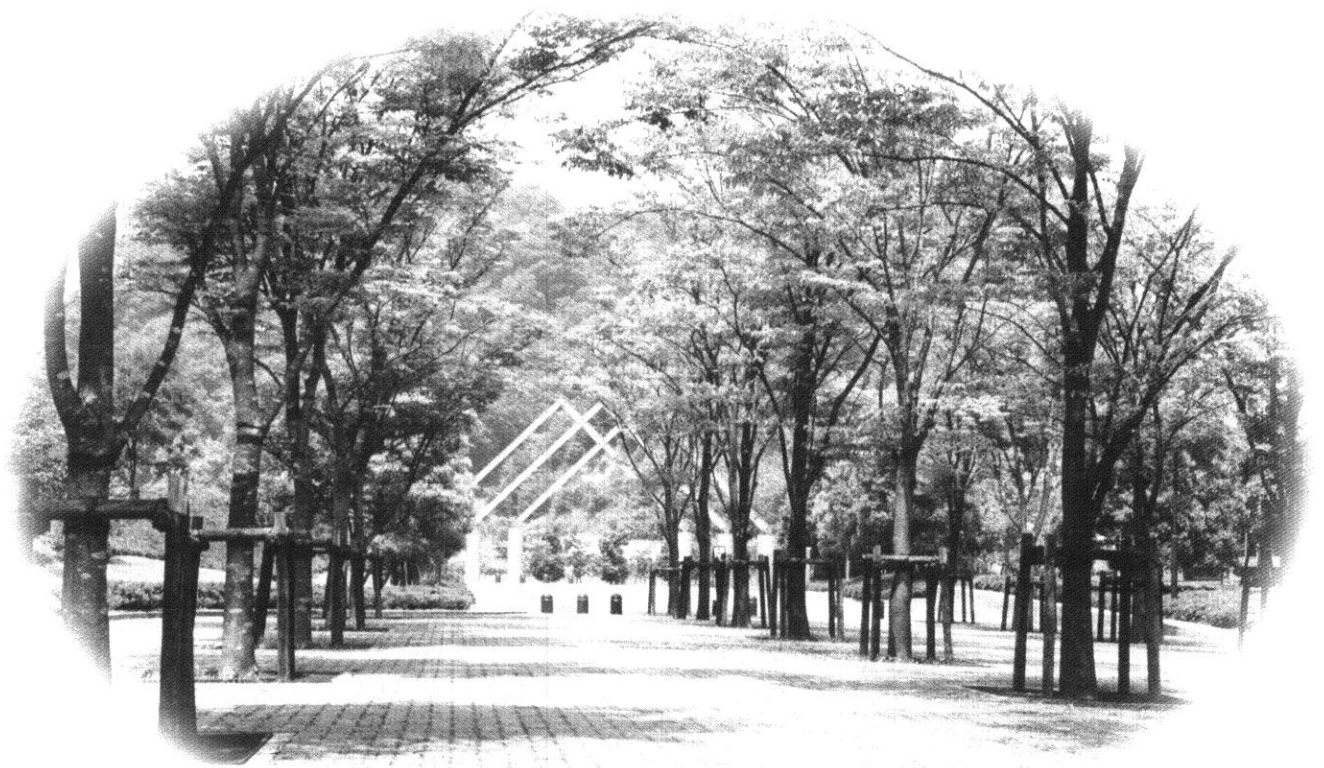
溫故創新

奈良先端科學技術大学院大學

創立10周年紀念史



奈良先端科學技術大学院大學



題字

奈良先端科学技術大学院大学長

鳥居 宏次

「温故知新」はよく御存知だと思います。意味は昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること（広辞苑より抜粋）とあります。

私は敢えて物事に能動的な姿勢で臨むという意味を持たせ、常に新しいものを創り出すという願いを込めて、「知」と「創」という字に換えて「温故創新」と本記念史の表題に使いました。

温故創新

奈良先端科学技術大学院大学

創立10周年記念史

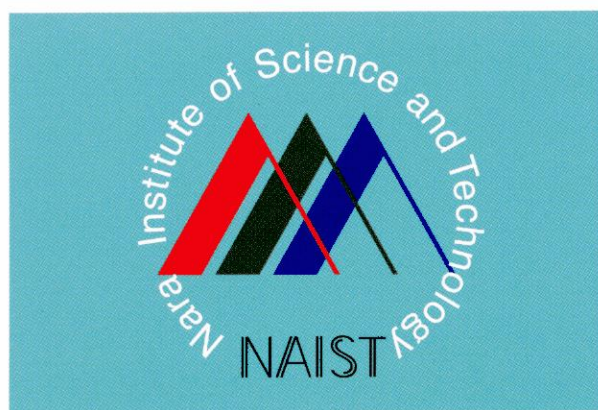
奈良先端科学技術大学院大学学歌

原作 岡部 剛機
監修 奈良女子大学 坂本 信幸教授他
作曲 古川 聖

- 一、春日山 瑞雲なびき
あけぼのの 空の遙けさ
知の森の 最先端へ
独創の 清風を送る
奈良先端科学技術大学院
高き理想の 階のぼる
- 二、富雄川 絶ゆることなく
せせらぎの 光は流る
盛りゆく 未来の蒼天へ
永遠の 真理を示す
奈良先端科学技術大学院
輝く知性の 階のぼる
- 三、生駒山 夕越え見れば
難波津に 集う百船
情報は 平城に集まり
先端の 叡智と繋ぐ
奈良先端科学技術大学院
新たな時代の 階のぼる

奈良先端科学技術大学院大学学歌の説明文

奈良の地域色を全面に、新時代の科学情報と叡知の集合する奈良先端科学技術大学院大学から新世紀へ向け、日本の優れた知恵を広く世界に向けて発信していく姿を表現している。万葉の時代の作品と最先端の時代を行くNAISTを掛け合わせることで過去と現在との調和を試み、生駒の麓から世界に、そして未来へ向けて、常に先端科学技術の最前線を行く大学であり続けてほしいとの願いが込められている。



学旗デザイン原作：藤原 強
デザイン監修：古川 聖

奈良先端科学技術大学院大学学旗の説明文

国際的な飛躍をイメージした空色を基調とし、本学のゲートを模した中央の三つの三角は、万葉集で謳われた大和三山（香久山・畝傍山・耳成山）と本学が持つ情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の3つの研究科、すなわち、最先端科学技術を担う三つの研究分野を表している。

古都奈良から世界へ向けて、最先端の「Science」と「Technology」に関する情報を発信し、本学が国際的に飛躍することをイメージしている。